

東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	情報処理		
科目基礎情報							
科目番号	0020		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電子工学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	プリント使用						
担当教員	小野 勇						
目的・到達目標							
C言語の文法を理解し、基本的なプログラミングを行えるようになる。さらに効率的なプログラミングができるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
C言語の構造	C言語の構造について詳しく説明できる。		C言語の構造について説明できる。		C言語の構造について説明できない。		
C言語の文法	C言語の文法について詳しく説明できる。		C言語の文法について説明できる。		C言語の文法について説明できない。		
C言語のプログラミング	C言語のプログラミングができる		C言語の簡単なプログラミングができる		C言語の簡単なプログラミングができない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	C言語はコンパイラ言語の一つであり、幅広く利用されている。このC言語を理解しプログラミングできることで、数値計算他多くの分野の応用に発展させることができる。						
授業の進め方と授業内容・方法	演習室のコンピュータを用いて、C言語の基本について解説しながらプログラミング演習を行う。繰り返し演習を行うことで理解を深め、技術の向上を図る。						
注意点	コンピュータの基本操作ができること。						
授業計画							
	週	授業内容・方法			週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	基本操作とプログラミングの練習 1			エディタ・コンパイラを正しく使用できる。	
		2週	基本操作とプログラミングの練習 2			エディタ・コンパイラを正しく使用できる。	
		3週	データ型と入出力 1			変数の宣言と入出力を説明でき、応用できる。	
		4週	データ型と入出力 2			簡単な数値計算のプログラミングができる。	
		5週	繰り返し			繰り返しの構文を理解し、使用できる。	
		6週	中間試験			1～5週までの到達度を確認する。	
		7週	条件文			条件文の構文を理解し、使用できる。	
		8週	プログラミング練習			繰り返しや条件文を複合的に使用してプログラミングできる。	
	2ndQ	9週	配列 1			配列について正しく使用できる。	
		10週	配列 2			配列を用いたプログラミングができる。	
		11週	関数 1			関数の定義と呼び出し方を説明できるができる。	
		12週	関数 2			関数を定義し、呼び出すプログラミングができる。	
		13週	ポインタ 1			値渡し、参照渡しについて説明できる。	
		14週	ポインタ 2			ポインタの用途を理解できる。	
		15週	ポインタ 3			ポインタを用いてプログラミングができる。	
		16週	前期末試験			最終的な到達度を確認する。	
評価割合							
	試験	演習	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	30	30	0	0	0	0	60
専門的能力	20	20	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0